

**催し** 8月10日(木)午後13:00~14:30 **展示会場内**  
**テーマ** 戦時下の品川を知る  
**DVD**: 語り継ぐ現代史「戦後70年特別企画—いま聞いておきたい あの日の記憶 昭和20年5月24日城南大空襲」制作品川区  
 (しながわ平和のための戦争展や、「城南空襲を語り継ぐ会」で展示してきた小島義一さんの絵とインタビューを含むDVDです。)

**催し** 8月11日(金)午後13:00~14:30 **展示会場内**  
**テーマ** 核廃絶への道を考える  
**コーラス**・たんぽぽ 「青い空は」「君とぼくの間」  
**演題**:「被爆者として核廃絶への想い」  
**講演**: 関 千枝子(品川区八潮・元毎日新聞記者・著書「広島第二県女二年西組一原爆で死んだ級友たち」「ヒロシマの少年少女たち—原爆、靖国、朝鮮半島出身者」など)

**特別講演** 8月11日(金)夜18:30~20:30 **きゅりあん4階第一特別講習室**  
**テーマ** 日本国憲法を考える  
**演題**:「日本国憲法の危機と改憲阻止の課題」  
**講演**: 金子勝さん(立正大学法学部名誉教授)  
**資料代**: 300円  
**共催**: 平和のための連絡会

**催し** 8月12日(土)午後13:00~14:30 **展示会場内**  
**テーマ** 子どもと戦争を考える  
 ・コカリナ&ギター演奏 品川コカリナアンサンブル・ギター嶋田昭治さん  
 「青い空は」「植生の宿」「童神」「ふるさと」など  
 ・紙芝居 「お母ちゃん お母ちゃん むかえにきて」 奥田 継夫作(実話紙芝居グループ)  
 ・平和の絵本読み聞かせ 品川のお話 親子で読み合う平和の絵本紹介

**催し** 8月13日(日)午後13:00~14:30 **展示会場内**  
**テーマ**: 沖縄を考える  
 ・お話 「沖縄に生まれて」照屋 寛正(照屋三線クラブ主宰)  
 ・沖縄の歌と踊り 照屋三線クラブ

☆午前中にも、憲法カフェ・ギャラリートークなど語り合える場を設ける予定です。

**募金のお願**  
 「しながわ平和のための戦争展」は個人参加の実行委員会が賛同する皆様からの事前のまたは会場での募金をもとに毎年開催しております。会場募金は、運営の大きな支えです。募金をよろしくお願いします。

しながわ 2017年 第34回

# 平和のための戦争展

## 戦争をする国にさせないために



「新しい憲法の話」文部省  
 憲法ができた後、中学一年生に使われた教科書の挿絵より

**とき** 8月10日(木)~13日(日)  
 10時~19時(13日は16時まで)  
**ところ** 品川区民ギャラリー(イトーヨーカドー大井町店8階)  
 JR京浜東北線・東急大井町線 大井町下車 徒歩3分

**主催** しながわ平和のための戦争展実行委員会

◎ 連絡先 03-5742-7563(西條明子) 03-3727-8382(扇谷道子)



## 第34回平和のための戦争展開催にあたって

1984年（昭和59年）手さぐりで始めた「しながわ平和のための戦争展」は、今年で34回目を迎えました。残念ながら「再び戦争は繰り返すまい」という国民の思いと裏腹に「戦争をする国」にするために憲法を変えようとする動きは強まっています。

「戦争展」が身近な地域の戦争の悲惨さを語り伝え、「戦争をする国」にさせないために親子孫三代で「平和」を考える場になればと願っています。

2017. 8 しながわ平和のための戦争展実行委員会

### ◎アジア太平洋戦争の下で

日清・日露戦争後、1931年柳条湖事件（満州事変）で中国東北部（満州）の半植民地化。さらに1937年の盧溝橋事件以降中国との全面戦争に。今年はその80年目に当たります。そして、1941年には米英に宣戦布告。東南アジア、太平洋へと戦線を拡大しました。アジアの死者2000万人以上。日本（軍人・民間人）は310万人と言われています。加害の事実を目を向けましょう。

### ◎戦争と子どもたちと地域

戦時下の学校では

教育の方針は教育勅語でした。朝、地域班単位で登校し、まず、校門で一礼、その後奉安殿（ほうあんでん）の前で直立不動・敬礼のあと、それぞれの教室へ行くのです。その後、学校での子どもたちは？奉安殿って？中には何があるの？また、当時の教科書や写真からどんな教育を受けたか考えてみませんか？

学童疎開

学童疎開を知っていますか？戦局の悪化に伴って「防空の足手まといを無くし次期戦力の温存」を目的に1944年学童疎開が始まりました。品川では、どこへ行ったの？どんな生活をしていたのでしょうか。

小島さんの絵で見る品川の空襲

1945年5月24日城南地域に落とされた爆弾・焼夷弾は3月10日の東京下町空襲の3倍にも上るものでした。特に戦前の荏原区は、空襲でほとんどまる焼けになりました。当時少年だった小島義一さんは、二度とこのようなことが起きないようにと、体験を絵に描き伝えてくれています。この空襲で孤児になった人もいました。あなたの住んでいるところはようになっていたの？想像しながら見てください。

品川の戦争遺跡＝品川に残る戦争の足跡＝

品川区には戦争の足跡がまだまだたくさん残っています。親子で歩いてみませんか。

\*机の上の資料、本などは手に取って自由にご覧ください。戦前の教科書を展示しました。椅子に腰かけてじっくりお読みになって結構です。

\*質問がある方は、実行委員の名札をつけた方にお聞きください。

### ◎日本国憲法を考える

憲法を変えるという動きは、更に現実のものになってきています。大日本帝国憲法下の55年間に日本は何回もの戦争を繰り返し、1945年の敗戦を迎えました。戦争への反省から生まれた日本国憲法の下で、日本は73年間、いろいろありながら、「戦争しない」を守ってきました。憲法と国民はどう向き合ってきたのか、今、憲法変えていいの？改めて日本国憲法を考え合いたいと思います。

### ◎戦争できる国は始まっている

安保関連法に基づく自衛隊の南スーダンへの派遣。共謀罪制定によって「戦争する国」の法整備が進みました。大学への軍事研究費の増額と武器関連企業への助成。日米韓などの共同訓練が行われ在日米軍基地の運用が広がっています。沖縄への強権的な基地の押し付け、教育面での変化にも目を向けたいと思います。

### ◎核廃絶への道

「核兵器禁止条約」が国連で採択されました。72年間も待った「ヒバクシャ」の想いが、長年の苦闘が実ったのです。国際的にも「核兵器廃絶」が大切と認められたのです。しかし、日本は、その会議に参加しませんでした。真の核廃絶を目指して、粘り強い被爆者の活動と原水爆禁止運動、世界の人々の闘いが作りだした条約から考えます。

### ◎平和の心を書で

峠三吉の「原爆詩集」の中から言葉を選ぼうと詩集を読み返しました。その日の惨状を思い描きながら書きました。また、沖縄の子どもの詩の中にある「この地を守る」強い団結の力を受けとめて、そして戦争の心の痛み悲しみを自作の俳句にして、心を込めて書に表現しました。拙いものですが、皆さまと一緒に平和な世界になりますように憲法9条を守り抜きましょう。

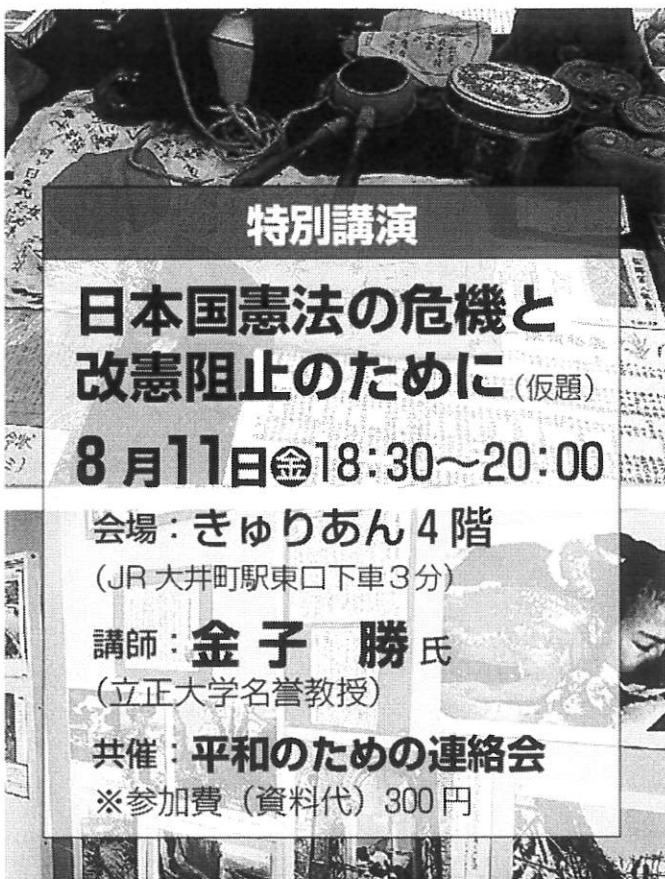
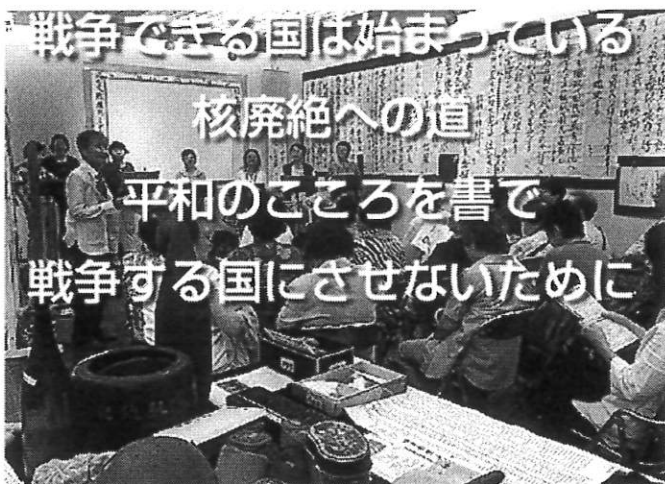
### ◎「戦争する国にさせないために」 私たちができること

「戦争する国にさせないために」区内でも様々な活動が広がっています。今年、「品川九条の会」、「子どもと教育九条の会・品川」、「戦争させない・9条壊すな総がかり行動実行委員会」などから様々な学び合いや行動を報告します。

### ◎実物が語る戦争

戦争中使われた品物を展示しています。実物から戦争のことを語り継ぐきっかけにしてほしいと思っています。わからないことは、スタッフに聞いてください。





～させないために～

# 第34回 しながわ 平和のための 戦争展

8月10日(木)～13日(日)  
10:00～19:00 (13日は16:00まで) **入場無料**

品川区民ギャラリーにて  
(東急・JR大井町駅前イトーヨーカ堂大井町店8階)

8月10日(木) 13:00～14:30

- DVD上映：戦後70年特別企画  
「いま聞いておきたいあの日の記憶」など

8月11日(金) 13:00～14:30

- コーラス・たんぽぽ
- 講演「被爆者として核廃絶への想い」 関千枝子さん

8月12日(土) 13:00～14:30

- コカリナとギター演奏 (品川コカリナアンサンブル)
- 紙芝居「お母ちゃんお母ちゃんーむかえにきて」  
奥田継夫作 (実話紙芝居グループ)
- 平和絵本読み聞かせ  
～品川の戦争民話、戦争中の絵本 他～

8月13日(日) 13:00～14:30

- お話「沖縄に生まれて」 照屋寛正さん
- 沖縄の歌と踊り (照屋三線クラブ)
- ※午前中にも憲法カフェ、ギャラリートークなど、  
語り合える場を設ける予定です。

主催：しながわ平和のための戦争展実行委員会

連絡先：扇谷道子 (TEL/FAX 03-3727-8382)・西條明子 (TEL03-5742-7563・FAX03-3775-7883)